



看護問題対策委員会ニュース

全日本赤十字労働組合連合会 NO. 16-07 2017. 4. 6

看護師・看護助手合同学習交流集会に参加のみなさんへ 集会前に…

膳所(ぜぜ)駅で「夜勤改善」署名行動します！

5月27～28日、滋賀県大津市で看護師・看護助手合同学習交流集会が開催されます。3月におこなわれた看護問題対策員会で議論した結果、集会前に最寄り駅の膳所駅で「夜勤改善・大幅増員署名」行動をすることにしました。集会前にお時間のある方で膳所駅前に集合して署名行動をします。ぜひ、ご参加ください。

「夜勤改善・大幅増員」署名行動

5月27日(土) 13:30～14:00

JR琵琶湖線 膳所駅前

*グッズは用意します。白衣歓迎です。

*署名行動後、ホテルバスにて会場に移動します。



3月27日の本社看護部との労使協議会報告

★「学会の参加条件にラダーを使うのはよくない」

～本社看護部長

キャリア開発ラダーの課題で、『ラダーⅢを取っていないと学会への参加できない』や『ラダーⅢを持っていない看護師が、新人の静脈注射のチェックはできない』、『ラダーⅢを取っていないとリーダー業務できない』と言われ、ラダーⅢを取得するよう強制されている実態をだしました。本社は「学会参加の条件にするのはよくない」と答えました。

★看護補助者の労働条件改善と業務の線引き必要

また、看護補助者は、臨時職員やパート職員が多く、看護の質を保つためにも補助者には長く働いてもらえるよう正規での採用を要求しているが施設は認めないことや、看護業務を『研修を受けたから』と、どんどん委譲させている実態を訴えました。本社は「本当に看護補助者に任せてよいのか、各施設で決める。もし拡大する場合、しっかり研修をおこなうよう言っている」と回答。全日赤は「介護福祉士や資格のない看護補助者が混在しており、安全で安心できる看護をおこなうためにも業務の線引きが必要である」と主張しました。

日本医労連「看護労働実態調査」を
5月におこないます。ご協力をお願いします。